



豊田PCB処理事業の完了時期延長 公開の住民説明会を

日本共産党豊田市委員会は、11月19日、豊田市細谷町にある豊田PCB処理事業所における事業の完了時期の延長について、市長および環境部に要望書を提出しました。

過去には、PCB漏えい事故の影響で、処理期間が延長した

経緯があり、今回は、環境省からの要請で、豊田事業所の事業完了時期が延びることになります。これにより、影響を受けるのは市民であり、詳細な説明会を自治区任せでなく、国が公開して開くこと、市民の理解が得られなければ、延期を認めないことなどを要請しました。

豊田民報

日本共産党豊田市委員会
◆豊田市日之出町一六六
Tel: 三三・四七二
毎週一回発行

豊田市長 太田総彦様
環境部長 清水 章様

2021年11月19日

豊田PCB処理事業における事業完了の延期に対する要望書

日本共産党
市議会議員 根本美香
市議会事務局 本多信弘

環境省は9月22日、北九州市のPCB処理施設での期限を2024年3月末まで2年先延ばしの方針を発表しました。豊田PCB処理事業の完了期限が、環境省の処理計画変更により延長の申請がされていると承知していますが、内容は重大であり、北九州事業所での処理が終了しなかった経緯を含め、詳細が地域住民に明らかになっていません。

同省の方針発表の同日、当時の小泉環境相が、北九州市長に面談し、完了の約束を守れないことを陳謝したうえで、早期の処理完了のための協力を要請し、北九州市長は、「誠に遺憾だ。安易に受け入れることはできない」と述べ、市民の理解を得るための地元説明会を求め、翌日に新聞報道されています。

今回の事業完了延期による住民、および市への影響と、新たな負担増の懸念があり、市民の理解なしには、延長は認めるべきではないと考えます。

よって、以下、要望いたします。

1. これまでの漏えい事故の経緯、その後の事故防止策、今回の延期理由についての説明会として、資料の提供とともに、一般市民を対象とした公開の住民説明会を、自治区任せでなく、国が主体で開くよう求めてください。
2. 国がおこなう恒久的な環境影響調査の制度を国に求め、調査結果を公表してください。
3. 豊田PCB処理施設で処理される廃棄物の他地域からの安全な運搬体制、運搬経路を明らかにすることを、国に要請してください。
4. 上記の要望内容を前提の上で、豊田PCB処理事業の完了期限延期について、市民の十分な理解が得られない場合は、延期を認めないでください。

政党助成金 ため込み基金総額 323億円 自民トップ 252億円 共産党は主張

総務省は9月24日、2020年分の政党助成金の使途等報告書を公表しました。交付総額約317億7400万円が日本共産党を除く各党に議席数などに応じて分配されています。

政党の本部・支部を合わせた支出総額は、統一地方選と参院選が行われた前年の19年と比べ、35・3%減の231億円でした。21年の衆

政党助成金は廃止を

院選に向けた支出を抑えたとみられ、繰り越し分を積み立てる各党の「基金残高」の総額は、政党助成制度が始まった1995年以降の最高の323億4400万円でした。

政党別では、自民党が支出額、基金残高ともにトップで、それぞれ111億8700万円、252億7200万円でした。

しんぶん赤旗の調査では、自民党は同年、現職国会議員に各1300万円を交付し、岸田首相の基金残高は、2638万円。自民党本部から受け取る金額の2年分です。前年の基金残高より50万円以上、増やしています。日本維新の会本部の「政党交付金使途報告書」によると、基金は2018年に2億300万円、20年には15億3800万円と、毎年増やしています。

各政党の政党助成金 基金残高

自民党	252 億 7200 万円	社民党	2 億 9500 万円
立憲民主党	28 億 300 万円	NHK 受信料を支払わない方法を教える党(当時)	7400 万円
公明党	18 億 500 万円	れいわ新選組	6100 万円
日本維新の会	15 億 3800 万円	政党助成法上の政党要件を失っている希望の党	3400 万円
国民民主党	4 億 6300 万円		

日本共産党は、国民の税金を原資とする政党助成金制度は思想・信条の自由や政党支持の自由を侵害する憲法違反の制度だとして廃止を主張し、受け取りも拒否してきました。



NHKの番組「逆転人生」に22日(月)登場した桜井昌司さんが、放映前の20日、豊田市内で講演会を行いました。主催は国民救援会豊田みよし支部。(写真)

今年の8月27日、東京高裁で画期的な判決が下されました。

1967年に発生した茨城の布川事件(※)で、再審無罪を勝ち取った桜井昌司さん。国家賠償請求裁判の控訴審でも、「警察の捜査は誤りであり違法。偽計を行ったものである」と、1審判決の賠償額をさらに超える

43年かけて無罪に 国民救援会「えん罪を無くすつどい」



支払いが命じられ、国、県は上告せず確定しました。

桜井さんは講演で、朝から晩まで続いた警察による取り調べの様子、終わりが見えず裁判で本当のことを話せば信じてもらえると「自白」せざるをえなかった心境などを説明。

えん罪になって分かったことと、ガンになって分かったこと等を、ユーモアを交えて話されました。長年の支援を続けた国民救援会への謝意も示されました。

※布川事件とは

1967年8月に、茨城県利根町布川の大工が何者かに殺



豊田市平和を願う戦争展 280名の参加で成功

第33回豊田市平和を願う戦争展が21日、豊田産業文化センターで280名の参加者で開催されました。

昨年は中止、今夏8月も中止でしたが、今回は厳しい日程にもかかわらず、多くの皆さんのご協力で開催することができました。ありがとうございます。

今年は、核兵器禁止条約の成立という大きな節目を迎え、原爆パネルの展示と「高校生が描いたヒロシマ」を展示しました。

総会と
講演

ジェンダーとは

講師：水谷陽子弁護士(名古屋法律事務所)

11月27日(土)

13時30分から講演、総会は15時から
豊田市福祉センター 45・46会議室

主催：平和と民主主義・革新統一をすすめる豊田懇談会

新たなアベ政治を許さない行動

12月3日(金)

午後1時からです

先週の告知の6時を
訂正します

豊田市駅デッキ西 旧松坂屋前

主催：平和と民主主義・革新統一をすすめる豊田懇談会



豊田の戦争では、特攻隊基地3カ所の記録と役割など展示。

今回は1日だけの開催でしたが、参加者からは「とても意義があった」「来て良かった」とアンケートに記入してありました。

今後も戦争の愚かさ、悲惨さを伝えるために続けて参ります。ご協力をお願いいたします。

(豊田市平和を願う戦争展実行委員会 柏木義孝)